

平成 24 年度 神奈川県立上溝高等学校不祥事ゼロプログラム

神奈川県立上溝高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、前年度の取組み点検を踏まえ、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

神奈川県立上溝高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び教頭がこれを補佐する。

2 目標及び行動計画

(1) 公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）

ア 目標

公務外非行を未然に防止する。

イ 行動計画

朝の打合わせや職員会議等で事故事例を提示し、公務員としての自覚と倫理意識の徹底を図る。

啓発資料をもとに職場研修を実施する。

(2) セクハラ、わいせつ行為

ア 目標

人権感覚を身につけ、セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。

イ 行動計画

外部講師を招き、人権教育研修会を実施し、人権感覚を身につける。

職員啓発資料をもとにスクールセクハラに関する職場研修を実施する。

(3) 体罰、不適切指導

ア 目標

生徒の人権を尊重し、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

人権教育研修会を実施し、人権感覚を身につける。

啓発資料をもとに生徒の人権保護の観点で職場研修を実施する。

(4) 適正な経理処理（公費、私費、現金管理）

ア 目標

私費会計や現金管理について事故の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

私費会計基準に基づく執行方法の周知と徹底を図る。

財務調査や私費監査の指導、指摘事項をもとに報告研修会を実施し、会計処理の改善を行う。

職員啓発資料をもとに私費会計についての職場研修会を実施する。

備品の現物照合を行う。

(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティー対策

ア 目標

個人情報の流出を未然に防止する。

イ 行動計画

個人情報管理についての研修会を実施する。

所属サーバー及び暗号化システムの利用と私物 USB メモリの持ち込み禁止を徹底する。

個人情報の校外持ち出し許可や携帯電話への個人情報の登録に係る手続きの徹底を図る。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

ア 目標

交通事故、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。

イ 行動計画

職員啓発資料をもとに、職場研修会を実施し、交通安全意識の向上に努める。

交通安全に関する啓発資料等によるセルフチェックを行う。

(7)業務執行体制

ア 目標

円滑な業務執行体制により事故の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

グループ内の情報共有、相互チェック体制、業務協力体制を確立する。

総括への報告・連絡・相談体制を確立し、不祥事の未然防止を図る。

3 検証・評価

(1) プログラムの実施状況について平成 24 年 10 月までに中間検証・評価を行う。また、年度末に最終検証・評価を行う。検証の結果、達成度が低ければ、補完措置を講ずる。

(2) 24 年度の最終検証・評価を踏まえて、次年度の不祥事ゼロプログラムを策定する。

平成 24 年度 神奈川県立上溝高等学校不祥事ゼロプログラムの検証・評価

平成 24 年度不祥事ゼロプログラムについて、次のとおり、行動計画に従って職場研修、点検等を実施し事故防止に努めた。

・ (1) から (7) までの各項目について事故防止会議や朝の打ち合わせ、職員会議において不祥事に関する情報提供、注意喚起を行い、職員の意識啓発に努めた。

・ (2) の項目については「スクールセクハラ」をテーマに外部講師による講義や討議、ロールプレイを通して教職員の認識を深めることができた。

・ (6) の項目については「交通安全講習会」において、スタントマンによる交通事故再現を実施し、交通安全意識の向上に資することができた。